

長湯温泉アルベルゴ・ディフーズ協会

事業概要

長湯温泉街に増える空き家を「暮らすように滞在する場」として活用し、長湯温泉版のアルベルゴ・ディフーズ構想として定着させること。全国の小規模な温泉地のモデルケースとなって、日本における温泉地の再生に寄与すること。

事業者情報

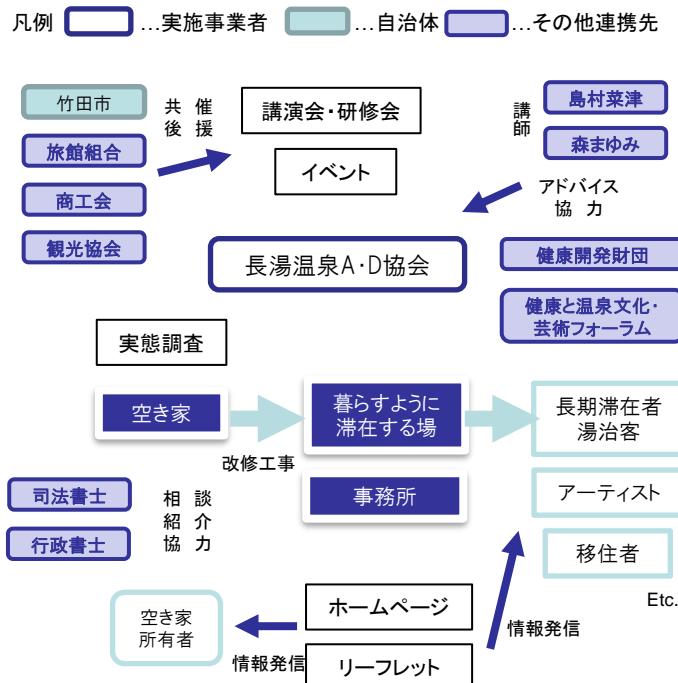
団体名 長湯温泉アルベルゴ・ディフーズ協会

所在地 大分県竹田市直入町大字長湯8009番地

設立時期 令和5年5月1日

団体HP <https://www.nagayuonsen-ad.sakura.ne.jp/>

活動地域 大分県竹田市直入町



取組内容及び成果

1. 本構想(アルベルゴ・ディフーズ)を推進するための講演会・研修会の開催

- 「世界中から人が集まり始めた過疎のまち」講演会の開催
- ノンフィクション作家島村菜津氏による記念公演「こうして村はよみがえった」
- トークセッション「竹田市における再生の可能性」
- 会員および参加希望者による研修会の開催

2. 事務局の登用と事務所の整備(空き家改修工事)

- 郵便局だった建物の改修工事を行い、協会の事務所を整備
- 空き家に関する相談窓口、地域の交流拠点としての運営開始

3. 地域内における空き家の実態調査

- 地域（竹田市直入町）内の空き家の状況を把握
- すぐに活用できそうな空き家の選定

4. 協会のホームページ作成・運用

5. PR用リーフレットの作成・印刷

- 長湯温泉におけるアルベルゴ・ディフーズ構想を紹介するリーフレットを刊行
- 関係施設・連携施設に設置

長湯温泉アルベルゴ・ディフーズ協会

①本構想(アルベルゴ・ディフーズ)を推進するための講演会・研修会の開催

・「世界中から人が集まり始めた過疎のまち」講演会の開催(参加者:59名)

ノンフィクション作家島村菜津氏による記念公演「こうして村はよみがえった」

トークセッション「竹田市における再生の可能性」

→ 増えていく空き家や過疎化が進むまちを魅力的に活かすヒントを得るよい機会となった。



・会員および参加希望者による研修会の開催

→ 先進事例についての学習と長湯温泉での取り組み内容の協議を行った。



こんな空き家対策が
あったのか！

世界中から
人が集まり始めた
過疎のまち
講演会

2023年12月7日㈭ 14:00～
直入支所ホール 入場無料

14:00 開会
14:15～ 記念公演「こうして村はよみがえった」
（講師）島村 菜津
15:45～ トークセッション「竹田市における再生の可能性」
（出席者）島村 菜津（ノンフィクション作家）
竹田市長 田代 伸也（竹田市長）
吉田 順次（長湯温泉アルベルゴ・ディフーズ会員）
17:00 閉会

島村 菜津
吉田 順次

主催：長湯温泉アルベルゴ・ディフーズ
主催：（一社）竹田市観光と温泉文化・振興フォーラム
共催：竹田市観光と温泉文化・振興フォーラム
【問い合わせ】吉田 順次（竹田市観光と温泉文化・振興フォーラム）
TEL: 080-2345-9537

②事務局の登用と事務所の整備(空き家改修工事)

- ・郵便局だった建物の改修工事を行い、協会の事務所を整備
- ・空き家に関する相談窓口、地域の交流拠点としての運営開始



③地域内における空き家の実態調査

- ・地域(竹田市直入町)内の空き家の状況を把握
- ・すぐに活用できそうな空き家の選定



④協会のホームページ作成・運用

→ ホームページ上で協会の目的や理念、活動内容を発信できるようになった。

訪問者が協会の活動に共感し、理解してもらえるよう内容の更新等を継続してしていく。

協会の活動を魅力的に伝えることで、訪問者の興味を引き付ける工夫を今後もていきたい。

「暮らすように滞在する」体験が開始された後は、利用者の声や事例を紹介し協会の信頼性を高める。

定期的・継続的な更新により、訪問者に有益な情報を提供し続ける。



⑤PR用リーフレットの作成・印刷

・長湯温泉におけるアルベルゴ・ディフーズ構想を紹介するリーフレットを刊行

・関係施設・連携施設に設置

→ リーフレットを手に取り見てもらうことで、協会の活動内容を知つもらうことができる。

また、情報を伝えて終わりではなく、相談窓口への資料請求など次のステップにつなげることも重要である。